

現場の視点から 地域を 振興する

経済復興の
指南役

人間発達文化学類 教授

初 澤 敏 生

HATSUZAWA Toshio

[専門分野] 経済地理学(地域産業論・地場産業論)、社会科教育学(地理教育・防災教育)



【プロフィール】地域産業の生産構造や地域的存立基盤の研究を通して、地域振興計画の立案などに従事している。震災後は、復興政策の基礎となる商工業や水産業・水産加工業の実態調査、避難者支援のための各種調査、防災教育に関する研究、地域復興のための支援活動などにも取り組んでいる。

現在、福島復興は政府の莫大な補助金によって進められています。県全体で見ると、福島の産業は復旧した、と言えるかもしれません。しかし、浜通り地域、特に原発に近い地域の産業は避難指示が解除されても依然として大変厳しい状況が続いています。生活の基盤となる産業が復旧しなければ、住民は帰還することはできません。産業復興のためにはまず、地域の実態を把握し、現場の視点から地域の特性に合った復興計画を作成する必要があると感じました。

そのために私は、震災以降、毎年、南相馬市原町区の事業所を対象に、震災前と比較した事業所数や施設・設備の稼働率、売り上げ、課題などについて実態調査を行っています。その結果、南相馬市

の産業の中心となる製造業は震災前から減少傾向にあり、震災をきっかけにその問題が顕在化、さらに加速化したということがわかりました。国の集中復興期間が終了する2016年度以降、被災地域はさらに厳しい局面に立たされることが予想されます。それを乗り切るためには、いかに地域の産業構造を変革するか、将来の核となる新しい産業を生み出していくか、ということが重要になってくるのではないのでしょうか。

現場に赴き、そして、着実にデータを蓄積することが地域の抱える課題を解決するための第一歩です。良心と研究に基づき、真実を正確に伝えていくことが、大学が果たすべき役割だと考えています。



研究概要

産業振興では、原町商工会議所・福島商工会議所・郡山テクノポリス推進機構・会津本郷焼組合などと連携し、企業の実態調査を踏まえて今後の方向性について提言しました。また、伊達市や国土交通省と連携し、地域振興のための道の駅建設に協力しています。

まちづくりでは福島商工会議所の福島駅周辺活性化計画、南相馬市小高区の市街地整備計画、福島市の下水道ビジョン、喜多方市の総合戦略の策定に協力しました。



教育面では、防災教育の研究を進め、特に社会科教育の中でどのように取り上げていくかを検討しています。その一部は教員免許更新講習などで現場の先生に伝えていきます。



教育
学習支援



防・災
都市計画



地・域
産業振興

こんなこと
できます!

地域の産業振興のお手伝いをします

想定するパートナー

各地の商工会議所・商工会・産業団体など

具体的な連携、事業化のイメージ

実地調査等に基づく課題の把握と振興策の提言など

これまでの取組事例

- ・原町商工会議所並びに福島商工会議所と連携して商工業実態調査を実施し、震災後の地域産業の改善の方向性を提言しました。(2011年～)
- ・会津本郷焼組合と連携し、本郷焼のブランド化事業に取り組みました。(2010・2012年度)
- ・伊達市の道の駅建設に協力。(2011年～)

関連情報

- ・地場産業のブランド化戦略とその課題
- ・東日本大震災被災地のものづくり復興の課題

私たちの研究室自慢!

伝統的建造物やマルシェを活用したまちづくり、ライブハウスが形成する地域の音楽シーンなど、伝統文化・現代文化を活用したまちづくり・地域づくりについて研究をすすめています。

